

南予生物 (2006) Vol 14

目 次

<本論文>

- 愛媛県瀬戸内海域の魚類—図鑑「瀬戸内海のさかな」の図版に用いられた
愛媛県産魚類標本の記録—……………清水孝昭 1
- 宇和島市来村川河口付近における鳥類調査報告 2004
……………久保晴盛・宝利陽子・赤坂知子・土居志織・橋越清一 19
- 南楽園（宇和島市津島町近家）の鳥類
……………橋越清一・清家圓三・磯崎 進・楠木憲一 34
- 新居浜市東川水系の魚類相……………高橋弘明・渋谷雅紀・畠中誉博 46
- 愛媛県で採集されたビワヨシノボリ（仮称）とトウヨシノボリ縞鱗型
……………高橋弘明・渋谷雅紀 65
- 松前町塩屋海岸における台風による地形および海浜植物の植生分布の変化
……………玉井修二 71

<短 報>

- 愛媛県立宇和島東高等学校内にみられるコタネツケバナ……………市川明宏・橋越清一 78

<会員通信>

- フィールドステーションとしての室手湾……………福森香代子 81
- 第32回四国魚類研究会に参加して……………高橋弘明 84
- 伊予農業高等学校環境保全プロジェクトチームの活動……………江崎杏子 87
- 愛媛県南宇和郡愛南町におけるイワミセキレイの観察例……………橋越清一 89

<その他>

- 図書 INFORMATION……………90
- 編集の現場から……………92
- 編集後記・事務局より……………93
- 投稿のお願い……………95
- 南予生物研究会会則……………97

<表紙説明>

スズメノカタビラ *Poa annua* L.

本種はイネ科に属する1年草である。水田や畑地あるいは路傍、庭に普通にみられる身近な雑草である。草高は約10～15cmで、あまり目立たない。晩秋から芽生え、冬を越して春先に花芽をつける。近縁種にツクスズメノカタビラがあり、本県でも報告がある。牧野(1961)によれば、「雀の帷子」の由来は細く小さい小穂をつけた花穂の状態からという。また、長田(1989)によれば、「帷子」とは夏のひとえの衣服のことで、穂をスズメが帷子に用いる意かとしている。

イラスト：徳岡良則 解説：橋越清一

文献 牧野富太郎. 1961. 牧野新日本植物図鑑, 北隆館. 長田武正. 1989. 日本イネ科植物図譜, 平凡社.